

---

Cloudy II /Supremacy III  
4U-45Bay ラックマウント JBOD システム  
ユーザーズマニュアル

---

第 1.3 版  
2018/10/30



変更履歴

版数	日付	内容
1.0	2013/05/27	初版作成
1.1	2013/10/08	パフォーマンス向上のためホスト接続方法変更
1.2	2015/06/29	SupremacyⅢ用 JBOD に関する説明の追加
1.3	2018/10/30	SupremacyⅢ用 JBOD 接続時の設定に関する説明を追加



## はじめに

---

本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品の適合性、暗黙の保証、運用における損害、及び、本書の使用に関連した損害について責任を負いかねます。また、本製品は、日本国外、軍事目的、原子力設備で使用されないことを前提としております。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品へ記録されたデータについて、その消失・誤記録における責任を負いかねます。

(データのバックアップは、システム管理者の責任において実施が必要です。)

本書は、著作権によって保護された情報を含んでおり、本書のいかなる部分も、株式会社ニューテックの書面による許可の無いまま、コピー、再版、他言語への翻訳を行ってはいけません。

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町2丁目7-19 KDX 浜松町ビル

<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2013 Newtech Co., Ltd. All rights reserved.

## 本書利用者の前提条件







---

本書は、コンピュータ装置の運用管理技術を有し、本書に記載された製品を利用するための、コンピュータ OS(基本ソフト)のインストール及びシステム変更の知識、及び、安全な運用や発生する問題を解決できる人を前提としています。





## 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、ケガや機器の障害を未然に防止するために、以下の注意事項を良くお読みください。

### 表示の意味

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重症を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	この記号は、注意（警告を含む）をうながす内容があることを示します。具体的な注意喚起内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。
	この記号は、禁止（してはいけないこと）の行為であることを示します。具体的な禁止内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。
	この記号は、強制（必ずすること）の行為であることを示します。具体的な強制内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。

### 警告

 禁止	本製品の分解、改造、修理をお客様ご自身で行わないでください。 本製品や火災や感電、故障の原因となります。
 電源プラグをコンセントから抜く	本製品やコンピュータ本体から煙が出たり異臭がした場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。 すぐに販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。 そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
 禁止	本製品の内部に水などの液体や異物を入れないでください。 万一入った時は、すぐに電源コードを抜いて販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。
 水場での使用禁止	本製品は水を使う場所や湿気の多い所で使用しないでください。 火災や感電、故障の原因となります。

## 注意



禁止

本製品の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。  
機器が故障や、倒れてケガの原因になります。



本製品に添付又はオプションのケーブル、コネクタ以外はご使用にならないでください。  
火災や感電、故障の原因となります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを触らないでください。  
火災や感電、故障の原因となります。



禁止

電源プラグの端子にほこりや金属物が付着したままご使用にならないでください。  
火災や感電、故障の原因となります。  
万一付着している場合は、良く拭き取ってからご使用ください。



アースを付ける

電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿し、アースを取ってご使用ください。  
火災や感電、故障の原因となります。  
※本製品ではアース付きの3端子タイプの電源プラグを使用していますが、一時的にアース線付きの3端子-2端子変換アダプタを使用する場合も必ずアース線を接続してご使用ください。

# 目次

---

はじめに .....	I
本書利用者の前提条件 .....	I
安全にお使いいただくために .....	II
目次 .....	IV
1. 新規導入 .....	1
1-1. 梱包品の内容確認 .....	1
1-2. 設置場所の確認 .....	1
1-3. システムインターフェース .....	2
1-3-1. 製品前面 .....	2
1-3-1-1 コントロールパネルボタン .....	2
1-3-1-2 コントロールパネル LED .....	3
1-3-1-3 ドライブトレイ LED .....	3
1-3-2. 製品背面 .....	4
1-3-2-1 電源 .....	4
1-4. ラックへの設置 .....	5
1-4-1. Inner Rail .....	6
1-4-2. Outer Rail .....	7
1-4-3. シャーシ取り付け .....	7
1-5. HDD モジュール組込み .....	9
1-6. ホストシステムとの接続 .....	10
1-6-1. Cloudy II との接続 .....	10
1-6-2. Supremacy III との接続 .....	11
1-6-2-1 ケーブルの接続 .....	11
1-6-2-2 グローバルスペア設定の変更 .....	12
1-7. 電源ケーブルの接続 .....	13
1-8. 【重要】システム稼動開始と停止について .....	14
1-8-1. Cloudy II の場合 .....	14
1-8-2. Supremacy III の場合 .....	15
1-9. 工場出荷時の RAID 構成 .....	16
1-9-1. Cloudy II JBOD の RAID 構成 .....	16

1-9-2. SupremacyⅢ JBOD の RAID 構成.....	17
付録 A. 製品仕様.....	18
a. CloudyⅡ JBOD 製品仕様.....	18
b. SupremacyⅢ JBOD 製品仕様.....	19
c. 共通製品仕様.....	19
付録 B. 消費電力/発熱量.....	20

# 1. 新規導入

---

製品の梱包を開けてから設置までの手順を説明します。

## 1-1. 梱包品の内容確認

梱包品一式が揃っていることをご確認ください。万一、不足品があった場合、速やかにお買い上げの販売会社までご連絡ください。



### 注意 本体の移動

サーバー本体は重量物なので、箱から取り出す時などは二人以上で作業してください。

## 1-2. 設置場所の確認

本装置を設置する場所については、以下の点にご注意してください。



禁止

### ホコリの多い場所、湿気の多い場所には置かない

換気扇の近くなどホコリの多い場所、加湿器の近くや水仕事の作業場などには設置しないでください。また、工場など空気中に油分やその他微粒子がある環境での設置もできません。このような環境に設置される場合は、防塵・防油の密閉型ラックキャビネットをご使用されることをお奨めします。



禁止

### 振動のある場所

机上でも引き出しの開閉が頻繁に行われる場所や、振動を起こしている機器の近くには設置しないでください。



禁止

### 高温・低温になる場所

直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなどには設置せず、周囲温度がなるべく常温(10~35℃)の場所に設置してください。夜間・休日などエアコンが停止するオフィスなどの環境では、24時間連続稼働システムの運用は避けてください。これは、夏場エアコンの停止する休日に24時間連続稼働システムのトラブルが多く報告されており、後の調査で、その環境が45℃を超える事例もあったためです。また、サーバーラームを設けていても、エアコンが集中管理されている場合は、オフィスと連動しているため、冬場は冷房に設定できない場合もあります。したがって、サーバーラームのエアコンに、必ず独立稼働できるタイプを設置してください。



注意

### 他の装置とのスペース

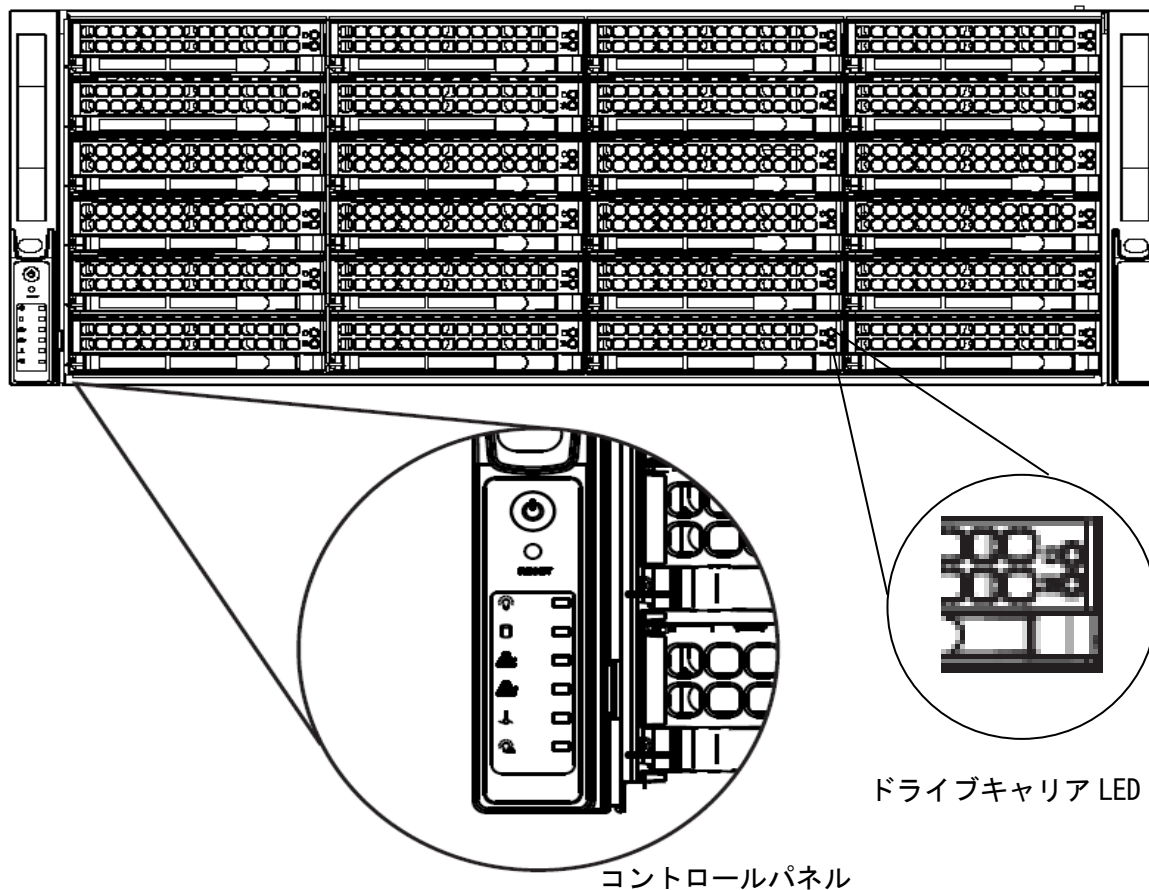
背面部は、30cm程度のゆとりをもってください。ラックマウント製品では、その基準に従って設置しますが、実装されるキャビネットは、本装置の運用の際にはエアフローなどの点において十分冷却能力のあるタイプを選択してください。また、ラックの冷却能力や、設置場所のエアコンの能力によっては高密度実装ができない場合があります。その場合には、それぞれの機器間で0.5U程度のスペースを空けると冷却効率が上がる場合があります。



### 1-3. システムインターフェース

#### 1-3-1. 製品前面

全面左手に以下のコントロールパネルがあります。



##### 1-3-1-1コントロールパネルボタン

2つの押しボタンがあります。一つは「電源」もう一つは「リセット」ボタンです。

電源ボタン：電源 ON もしくは OFF する際に使います。

※ 電源ボタンにて電源 OFF する場合は、ボタンを数秒間押し続けてください。

※ 電源 ON の状態で AC ケーブルを抜いた場合、AC ケーブルを再挿入すると自動的に電源 ON となります。



リセットボタン：本製品では使用しません。

### 1-3-1-2コントロールパネルLED

コントロールパネル上に5個のLEDがあります。

Power：点灯時は電源がONの状態になっています。システムの起動中は常に点灯しています。



オーバーヒート/FAN 障害：本製品では使用しません。

ネットワークアクティビティ：本製品では使用しません。

HDD：本製品では使用しません。

電源障害：以下のLEDが点滅している場合、電源故障またはACの供給に異常があります。



### 1-3-1-3ドライブトレイLED

上段：HDD アクティビティ LED

SATA ディスク搭載：ディスクへのアクセス時、青点灯(点滅)します。

SAS ディスク搭載：ディスクが正常に認識されている場合は青点灯、ディスクへのアクセス時に消灯(点滅)します。

下段：ステータス LED

通常稼働時は消灯しています。ディスク障害時に赤点灯します。リビルドターゲット、またはRAID構成にてスペアディスクに割り振られた場合、赤点滅します。

リビルドターゲットディスク：赤点滅 ブリンク1

スペアディスク：赤点滅 ブリンク2



サーバー稼働中に故障していないHDDを取り外さないでください。  
データ損失やサーバーが停止することがあります。

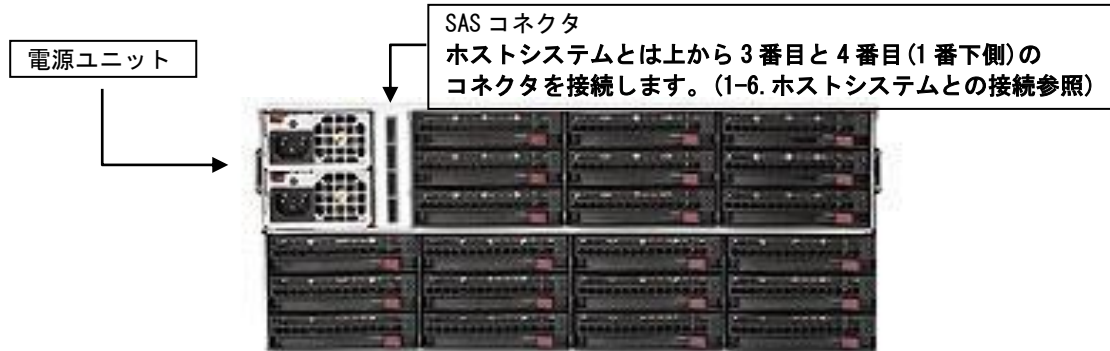
## 1-3-2. 製品背面

### 1-3-2-1電源

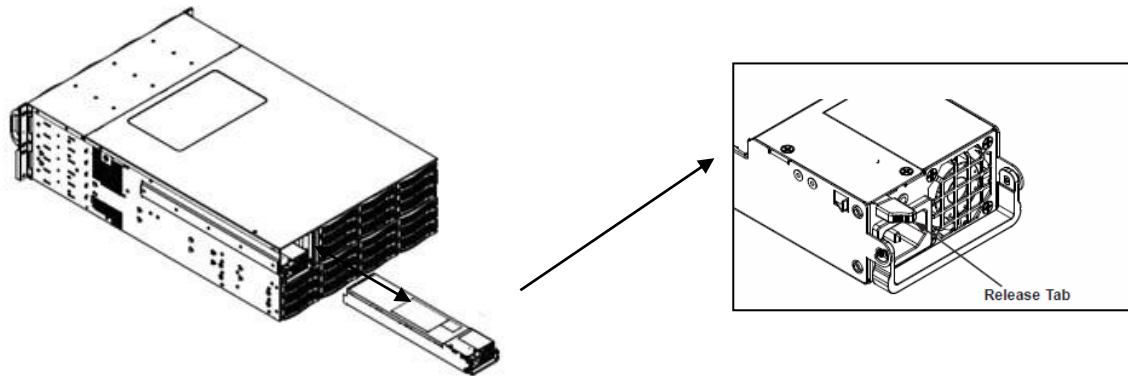
背面から見て左手にホットプラグ可能な電源ユニットが縦に2個並んでいます。

上が電源ユニット1、下が電源ユニット2です。

電源ユニットの右隣りにホストシステム接続用のSASコネクタがあります。



電源ユニットはリリースタブを押しながらハンドルを引っ張ると抜くことができます。



※冗長化電源のため電源ユニットの1個が故障してもシステムは停止すること無く稼動が可能ですが、電源ユニット故障した場合アラームが鳴動します。アラームを停止するには故障した電源ユニット引き抜いてください。

#### 1-4. ラックへの設置



**注意**

各レールの摺動部にグリスが塗ってありますので、拭き取らないでください。



**注意**

サーバー本体は重量物なので、二人以上で持ち上げてください。指や衣服が挟まれて、けがをするおそれがあります。

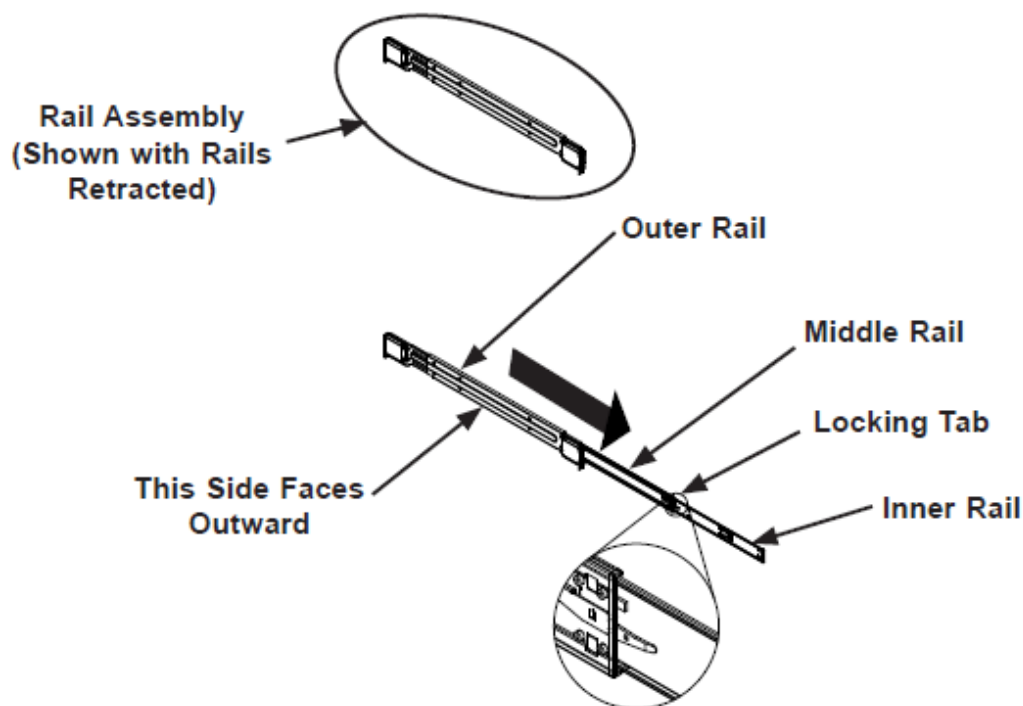
ラックマウントキットは 26.5~36.4 インチ (67.4~92.4cm) の奥行き of ラックに対して取りつけ可能です。

左右両側 2 セットの Rail アセンブリは以下のとおり 3 つの部分から成り立っています。

「Inner Rail」は筐体に取りつけます。「Outer Rail」はラックに取りつけます。「Middle Rail」はシャーシを引き出す際に延長されます。右用、左用があり、R (右) L (左) のシールが貼ってあります。

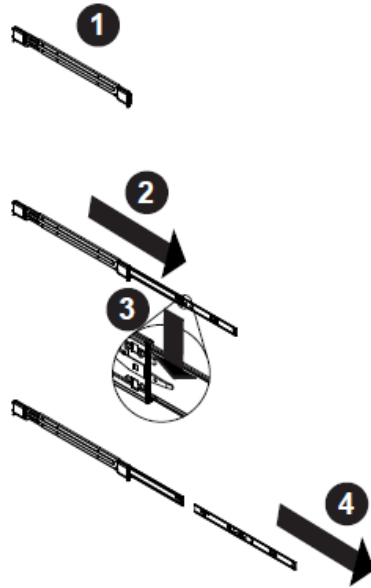
「Inner Rail」には「Rocking Tab」がありラック内でシャーシをロックするとともに、シャーシを引き出した際にもシャーシをロックします。

筐体設置時に使用するネジは、添付の“RAIL”と書かれた透明な袋に入っています。

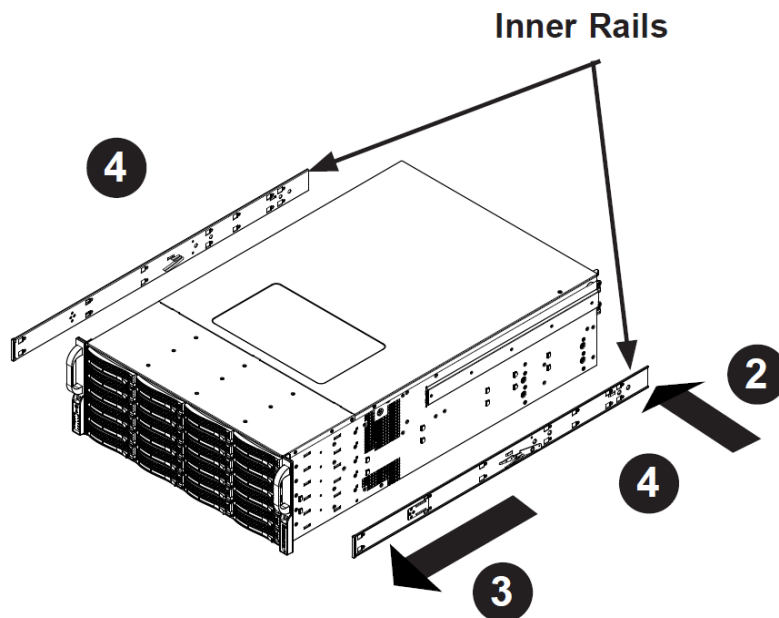


### 1-4-1. Inner Rail

「Inner Rail」を「Outer Rail」から引っ張ります。「Rocking Tab」を押して「Inner Rail」から「Outer Rail」を取り外します。



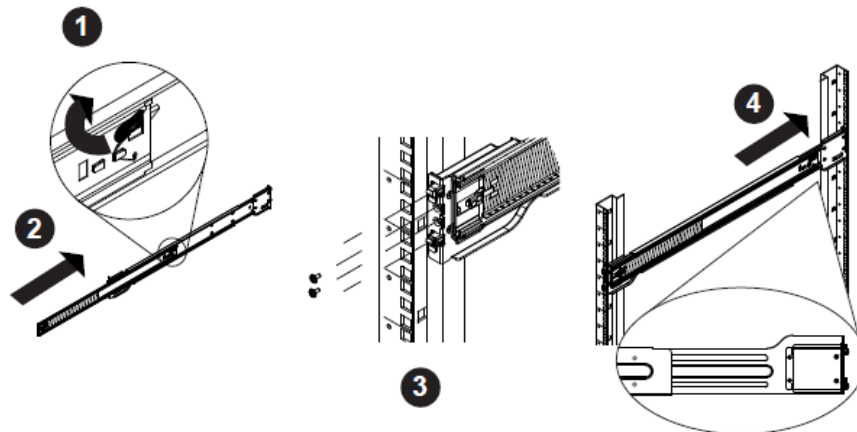
取り外した「Inner Rail」をシャーシの背面側から前面側にスライドさせロックをした後、短い皿ネジを使用し、左右に1箇所ずつ取りつけます。



## 1-4-2. Outer Rail

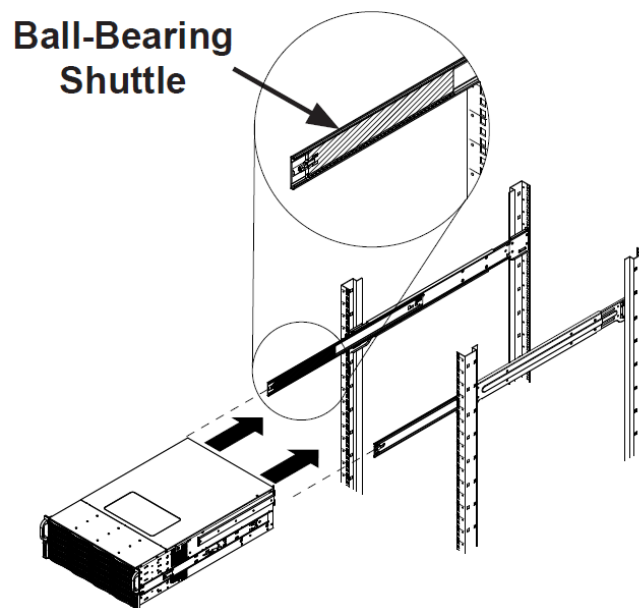
### Outer Rail

- ① 「Rocking Tab」 を押して
- ② 「Middle Rail」 を「Outer Rail」 の中に納めます。
- ③ 「Outer Rail」 のフックをラック前面に引っ掛けます。フックの上にある黒い部分をラックに押し当てながら、フックを引っ掛けます。前面から、ワッシャーと長い皿ネジを使用し、上と下2箇所を取りつけます。真ん中のネジ穴は空け、左右のレールに実施してください。
- ④ 「Outer Rail」 の背面を後方に伸ばしラックの背面位置に合わせ手順③の要領でフックを引っ掛けます。後方からワッシャーと長い皿ネジを使用し、上と下2箇所を取りつけます。真ん中のネジ穴は空け、左右のレールに実施してください。



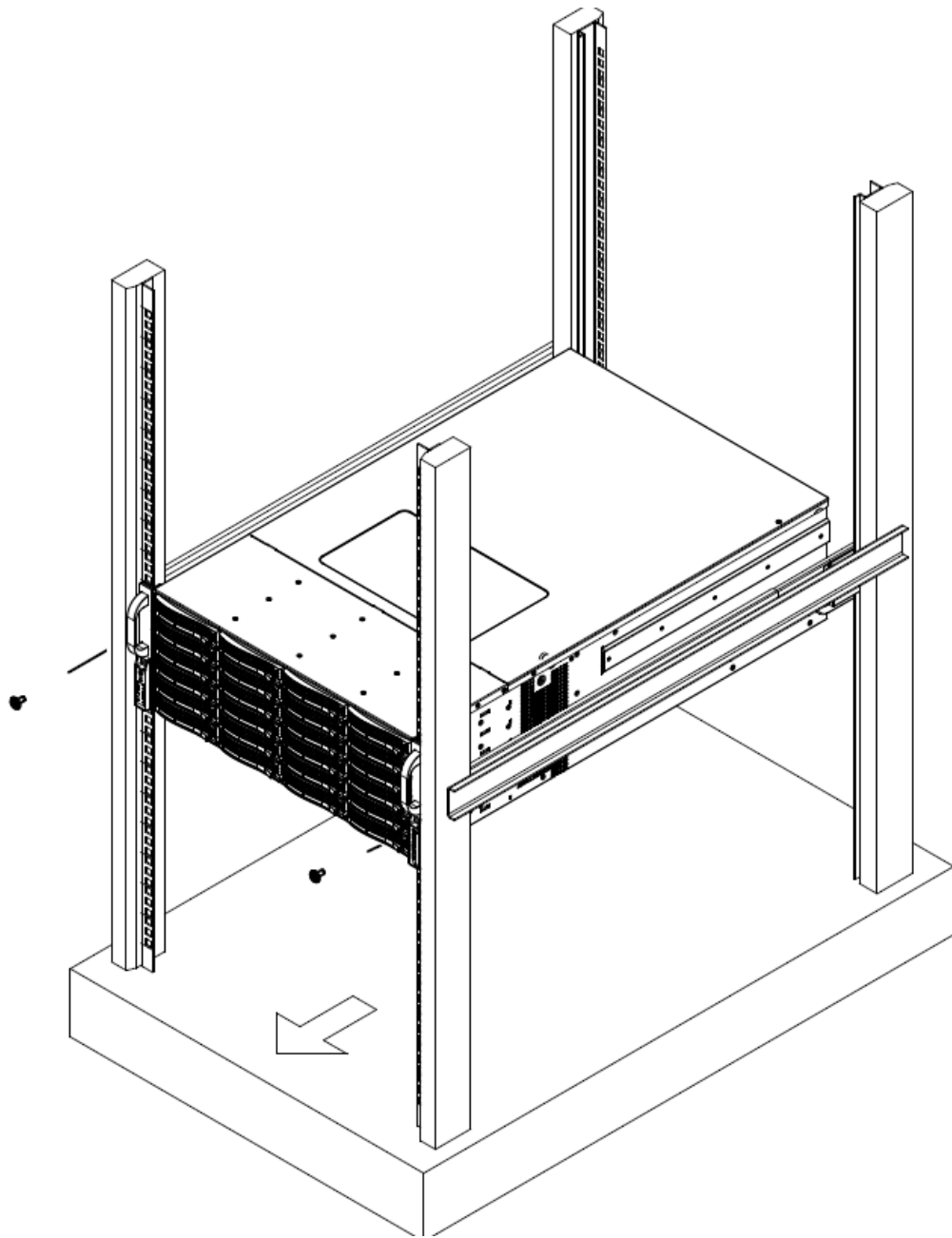
## 1-4-3. シャーシ取り付け

「Inner Rail」 がシャーシに、「Outer Rail」 がラックに正しく付けられていることを確認します。「Outer Rail」 の手前側から「Middle Rail」 を手前に引き、ボールベアリングシャトルが「Middle Rail」 の前側のロック位置にあることを確認します。



シャーシに取り付けてある「Inner Rail」を「Middle Rail」に左右同じ力で入れていき、「Inner Rail」の「Rocking Tab」がロックされる位置まで押し込みます。

「Rocking Tab」を押しこみさらにシャーシを押しこみます。



長いトラスネジを使用し、シャーシ前面のハンドルの下にある穴から、左右2箇所ネジ止めします。

## 1-5. HDD モジュール組込み

HDD モジュールはシャーシとは別梱包です。各 HDD モジュールにはスロット番号シールが貼ってありますので下図を参照して正しい位置にセットしてください。

### シャーシ前面

SLOT: 5	SLOT: 11	SLOT: 17	SLOT: 23
SLOT: 4	SLOT: 10	SLOT: 16	SLOT: 22
SLOT: 3	SLOT: 9	SLOT: 15	SLOT: 21
SLOT: 2	SLOT: 8	SLOT: 14	SLOT: 20
SLOT: 1	SLOT: 7	SLOT: 13	SLOT: 19
SLOT: 0	SLOT: 6	SLOT: 12	SLOT: 18

### シャーシ背面

PSU	SLOT: 32	SLOT: 38	SLOT: 44
	SLOT: 31	SLOT: 37	SLOT: 43
	SLOT: 30	SLOT: 36	SLOT: 42
SLOT: 26	SLOT: 29	SLOT: 35	SLOT: 41
SLOT: 25	SLOT: 28	SLOT: 34	SLOT: 40
SLOT: 24	SLOT: 27	SLOT: 33	SLOT: 39

※JBOD システム稼働後 RAID コントローラーからは前面、背面の各バックプレーンが独立して認識されるため、シャーシ背面の Slot :24-44 は Rear 側-Slot: 0-20 と認識されます。

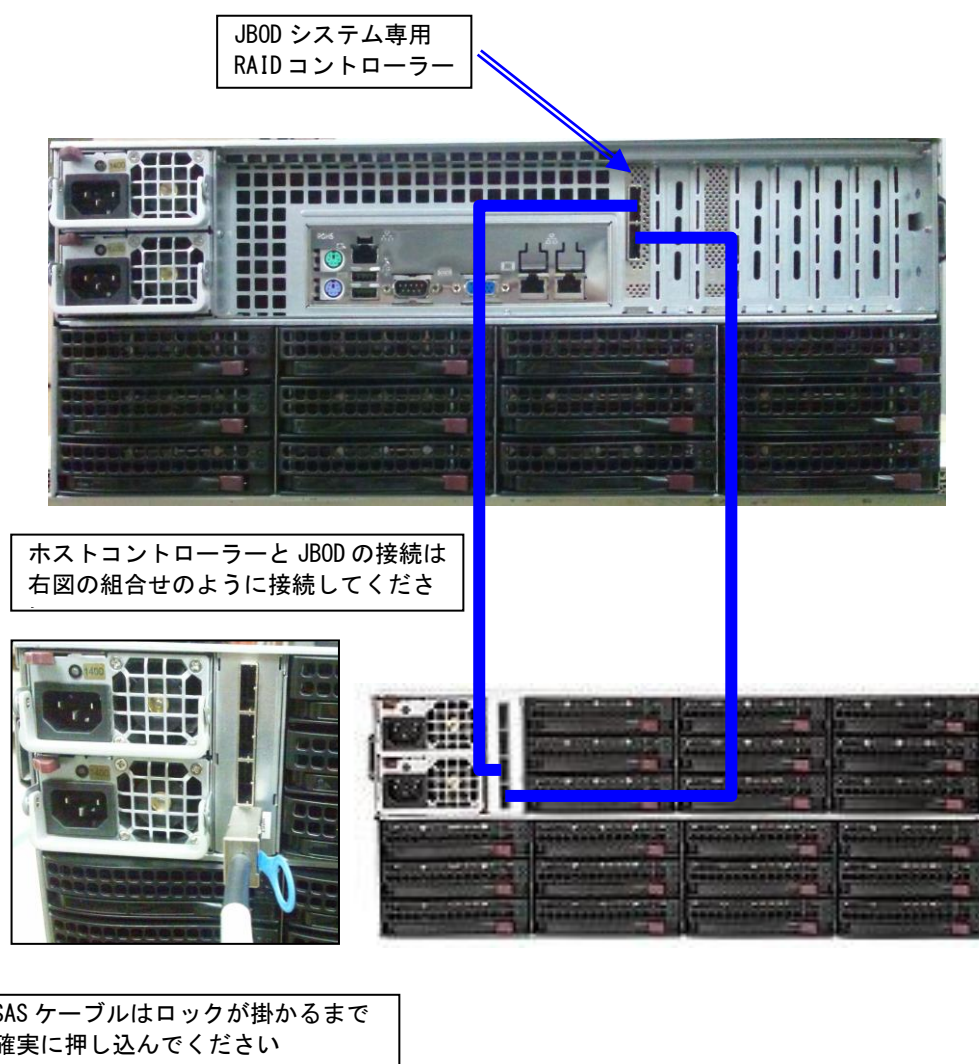


## 1-6. ホストシステムとの接続

### 1-6-1. Cloudy II との接続

ホストシステム（例：4U サーバー）

JBOD 専用 RAID コントローラーがセットされていることを確認してください。JBOD 専用コントローラーの 2 ポートとも 1 台の JBOD システムに接続します。



JBOD システム（NCDT\*\*45SANAS4UJB / NCDT\*\*45SSNAS4UJB）

JBOD システムは 4 個ある SAS コネクタのうち、上から 3 番目のコネクタとホストシステム上側コネクタ、JBOD 側一番下のコネクタとホスト 下側を接続してください。他のコネクタは使用できません。（本製品はカスケード接続をサポートしていません）

## 1-6-2. SupremacyⅢとの接続



JBOD (拡張筐体) を接続する場合、基本筐体の RAID コントローラーに搭載するメモリーを、16GB に増設する必要があります。  
接続できる JBOD は最大 2 台までです。それ以上は接続しないでください。

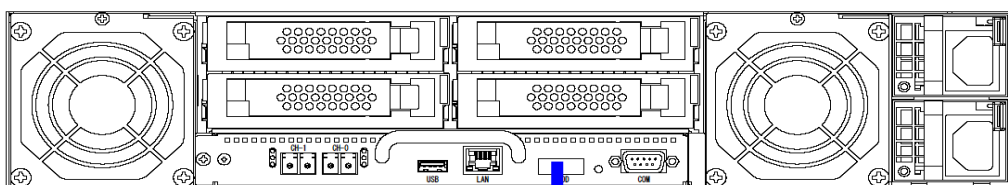


JBOD (拡張筐体) を接続する場合、RAID の設定の「ドライブの検出時に自動的にグローバルスペアにする」を「いいえ」に設定してください。  
未設定の場合、データを損失する可能性があります。  
設定方法は、[こちら](#)を参照してください。

### 1-6-2-1 ケーブルの接続

#### 基本筐体

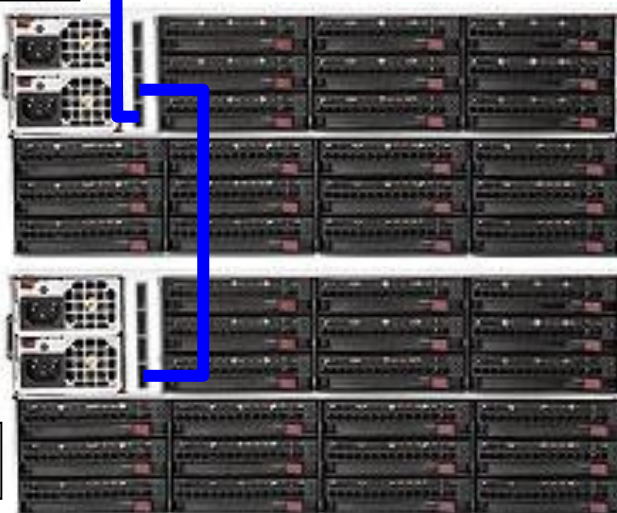
筐体背面の SAS コネクタを使用して JBOD システムに接続します。



基本筐体と JBOD の接続は右図の組合せのように接続してください



SAS ケーブルはロックが掛かるまで確実に押し込んでください



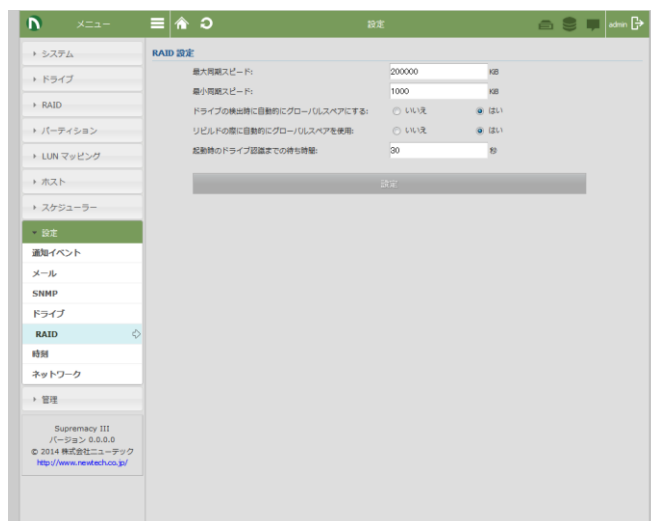
#### JBOD システム (NCDT\*\*45SA4USPJB)

SupremacyⅢは JBOD システムを最大 2 台まで接続可能です。背面にある 4 つの SAS コネクタのうち、一番下のコネクタと基本筐体を接続してください。2 台目の接続には、1 台目の JBOD の上から 3 番目のコネクタと、2 台目の JBOD 側の一番下のコネクタを接続してください。

## 1-6-2-2 グローバルスペア設定の変更

拡張筐体使用時はグローバルスペアの設定を変更する必要があります。

設定の変更はウェブダッシュボードで行います。



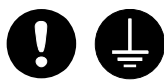
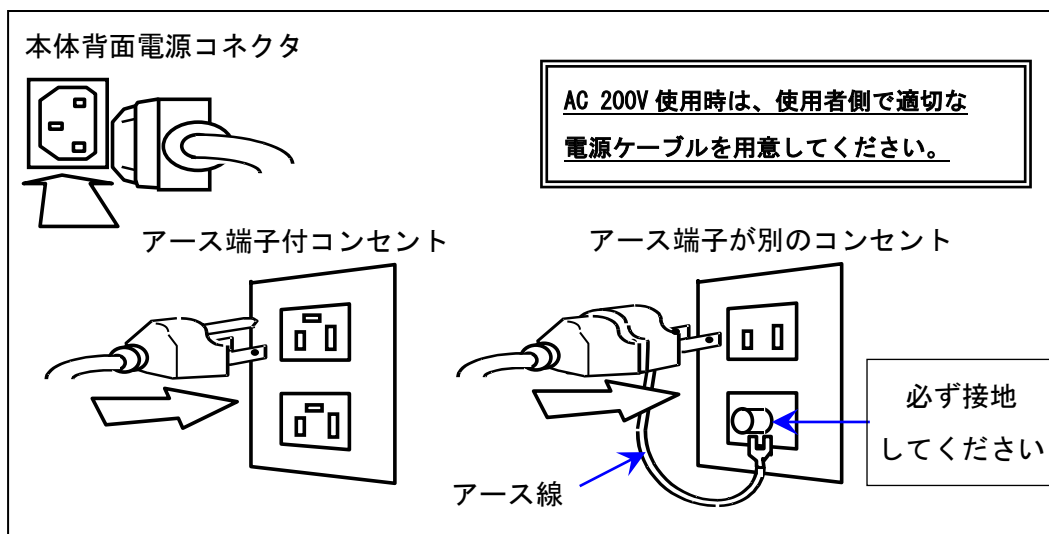
ウェブダッシュボードにある「設定」メニューの「RAID」ページで、「ドライブの検出時に自動的にグローバルスペアにする」を「いいえ」に設定します。

※工場出荷時、JBOD にパーティションは作成されていません。必要に応じてパーティションの作成と LUN マッピングを行ってください。

こちらの設定方法につきましては、Newtech Supremacy III RAID ユーザーズマニュアルをご参照ください。

## 1-7. 電源ケーブルの接続

電源ケーブルと接続電源の接続は下図の通りに行ってください。



アースを付ける

**電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿し、アースを取ってご使用ください。**

火災や感電、故障の原因となります。

※本製品ではアース付きの3端子タイプの電源プラグを使用していますが、一時的にアース線付きの3端子-2端子変換アダプタを使用する場合も必ずアース線を接続してご使用ください。



注意

**本製品には2台の電源ユニットが搭載されています。**

- ・必ず2台共、電源ケーブルをコンセントに接続してください。
- ・本製品に使用する電源ケーブルは、必ず製品添付もしくは指定の電源ケーブルをご使用ください
- ・電源ケーブルは本製品専用です。他の機器には転用しないでください。



注意

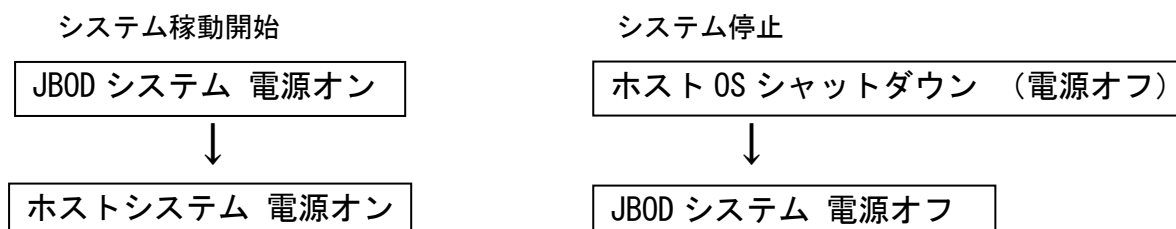
**ACが供給されると自動的に電源オンされます。**

システムを稼働する時は、ホストとの接続及びHDDをセットした後でAC供給を開始してください。

## 1-8. 【重要】システム稼働開始と停止について

### 1-8-1. Cloudy II の場合

システム稼働開始時は、JBOD システム→ホストシステムの順番で電源をオンする必要があります。停止時は逆にホストシステムの OS をシャットダウンした後で JBOD システムの電源をオフしてください。



※ホストシステム稼働開始時、モニタ画面が下記状態で停止した場合は JBOD システムが正常に認識されていません。

```
LSI MegaRAID SAS-MFI BIOS
Version 3.26.00 (Build August 24, 2012)
Copyright(c) 2012 LSI Corporation
HA -0 (Bus 3 Dev 0) LSI MegaRAID SAS 9280-8e
FW package: 12.12.0-0139

All of the disks from your previous configuration are gone. If this is
an unexpected message, then please power off your system and check your cables
to ensure all disks are present.
Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.
-
```

この状態のまま、ホストシステムの電源をオフしてください。

- ・ JBOD システムが電源オンされているか
- ・ SAS ケーブルの接続に異常はないか

を確認し、再度ホストシステムの電源をオンしてください。

上記を確認しても解消しない場合は、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

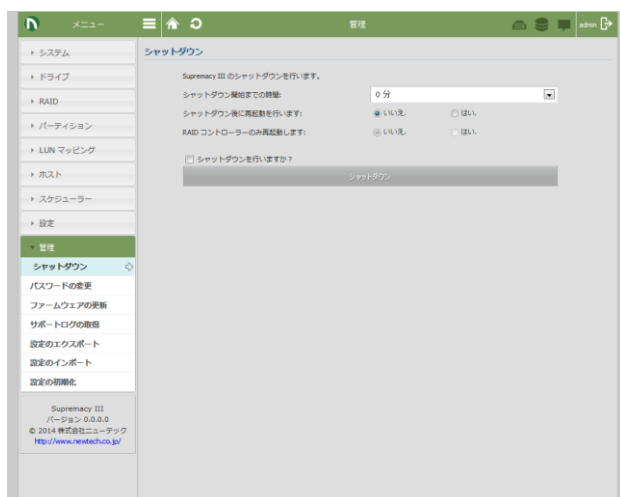
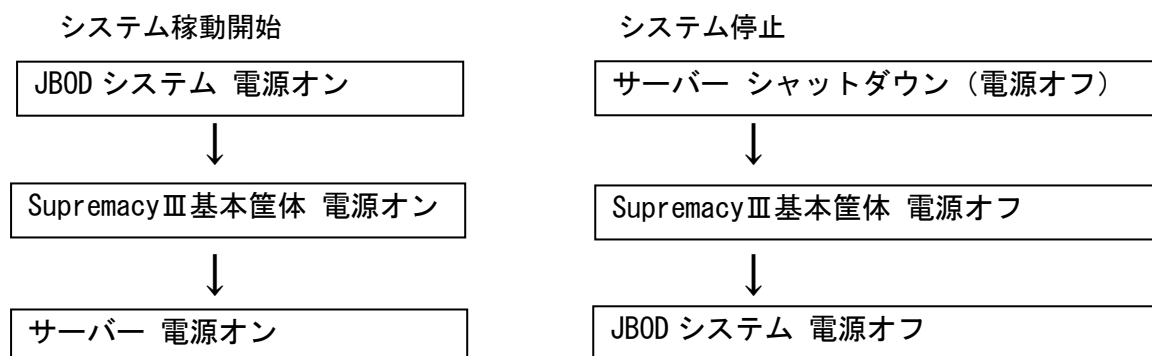
※ホスト OS シャットダウン前に JBOD システムの電源をオフするとデータ、ファイルシステム及び RAID 構成情報などにダメージを与える場合がありますのでご注意ください。

※停電等発生しホストシステムと JBOD システムの AC が同時に復旧した場合は、JBOD システム(ボリューム)がホストシステム(OS)より正常に認識されているかご確認ください。

## 1-8-2. SupremacyⅢの場合

システム稼働開始時は、JBOD システム→SupremacyⅢ 基本筐体→サーバーの順番で電源をオンする必要があります。

停止時は逆にサーバーをシャットダウン→SupremacyⅢ 基本筐体→JBOD システムの順に電源をオフしてください。



SupremacyⅢ基本筐体の電源をオフするにはブラウザー（ウェブダッシュボード）、または筐体の電源ボタンを使用します。

ウェブダッシュボードで電源をオフするには、左図のように「管理」メニューの「シャットダウン」ページからシャットダウンを実行します。

筐体前面の電源ボタンで電源をオフするには、電源ボタンを1～2秒間押し続けてください。

※基本筐体の電源をオフしても JBOD の電源はオフされません。別途電源をオフしてください。

※サーバーのシャットダウン前に基本筐体や JBOD システムの電源をオフするとデータ、ファイルシステム及び RAID 構成情報などにダメージを与える場合がありますのでご注意ください。

※停電等発生し基本筐体と JBOD システムの AC が同時に復旧した場合は、JBOD システムの RAID やパーティションが基本筐体より正常に認識されているかご確認ください。

## 1-9. 工場出荷時の RAID 構成

### 1-9-1. Cloudy II JBOD の RAID 構成

アレイ構成	HDD 台数: 45 VD0 : RAID6 (22 台) / VD1 : RAID6 (22 台) / Spare : Global (1 台)	
Group: 0	Slot number	front : 0-21
Group: 1	Slot number	front : 22、23 + rear : 0-19
ロジカルドライブ構成 Virtual Drive: 0、1 共通	Capacity: RAID Level: Stripe Size: Access Policy: Drive Cache Policy: Read Policy: IO Policy: Write Policy:	構成可能な全容量 RAID 6 64 KB Read Write Enable Ahead Cashed IO Always Write Back
スペアドライブ構成	設定 Slot number	Global rear : 20

RAID 構成の削除及び再構成、RAID 構成・監視アプリ: MegaRAID Storage Manager (MSM) につきましては、ホストシステム側と操作方法など共通です。  
ご購入のホストシステム マニュアルをご参照ください。

## 1-9-2. SupremacyⅢ JBOD の RAID 構成

アレイ構成	HDD 台数: 45 GRP0:RAID6(15台) / GRP1:RAID6(15台) / GRP2:RAID6(15台)	
Group: 0	Slot number	front : 0-14
Group: 1	Slot number	front : 15-23 + rear : 0-5
Group: 2	Slot number	rear : 6-20
RAID 設定・構成 Group: 0、1、2 共通	Capacity: RAID Level: Chunk Size:	構成可能な全容量 RAID 6 16 KB
スペアドライブ構成	未構成	

各 RAID にパーティションは作成されていないので、必要に応じてパーティションの作成と LUN マッピングを行ってください。

設定方法や RAID 構成の削除、再構成につきましては、Newtech SupremacyⅢ RAID ユーザーズマニュアルをご参照ください。



JBOD (拡張筐体) を接続する場合、RAID の設定の「ドライブの検出時に自動的にグローバルスペアにする」を「いいえ」に設定してください。  
未設定の場合、データを損失する可能性があります。  
設定方法は、[こちら](#)を参照してください。



## 付録 A. 製品仕様

### a. Cloudy II JBOD 製品仕様

HDD タイプ	SATA 6Gb/s 7200rpm				
NTC 製品型番	NCDT1T45SANAS4U (E) JB	NCDT2T45SANAS4U (E) JB	NCDT3T45SANAS4U (E) JB	NCDT4T45SANAS4U (E) JB	NCDT8T45SANAS4U (E) JB
搭載 HDD	45x 1TB	45x 2TB	45x 3TB	45x 4TB	45x 8TB
標準 RAID 構成	ボリューム 1: 22x HDD: RAID6 ボリューム 2: 22x HDD: RAID6 1x グローバル ホットスタンバイ				
データ領域	2x 約 20TB	2x 約 40TB	2x 約 60TB	2x 約 80TB	2x 約 160TB
本体重量	約 50.5kg	約 60.8kg	約 60.8kg	約 61.3kg	お問い合わせ

HDD タイプ	SAS 6Gb/s 15000rpm				
NTC 製品型番	NCDT300G45SSNAS 4U (E) JB	NCDT600G45SSNAS 4U (E) JB	NCDT900G45SSNAS 4U (E) JB	NCDT1200G45SSNA S4U (E) JB	
搭載 HDD	45x 300GB	45x 600GB	45x 900GB	45x 1.2TB	
標準 RAID 構成	ボリューム 1: 22x HDD: RAID6 ボリューム 2: 22x HDD: RAID6 1x グローバル ホットスタンバイ				
データ領域	2x 約 6TB	2x 約 12TB	2x 約 18TB	2x 約 24TB	
本体重量	約 60.4kg	約 61.1kg	お問い合わせ	お問い合わせ	

#### SATA/SAS モデル共通仕様

JBOD 専用 RAID カード ※ホストシステム内へ設置	1x MegaRAID SAS 9280-8e (RAID 0, 1, 10, 5, 50, 6, 60)
サポート OS	NTC IX Windows Storage Server2008 R2 (SP1) Windows Storage Server2012

b. SupremacyⅢ JBOD 製品仕様

HDD タイプ	SATA 6Gb/s 7200rpm			
NTC 製品型番	NCDT2T45SA4USPJB	NCDT3T45SA4USPJB	NCDT4T45SA4USPJB	NCDT8T45SA4USPJB
搭載 HDD	45x 2TB	45x 3TB	45x 4TB	45x 8TB
標準 RAID 構成	RAID グループ 1: 15x HDD: RAID6 RAID グループ 2: 15x HDD: RAID6 RAID グループ 3: 15x HDD: RAID6			
データ領域	2x 約 40TB	2x 約 60TB	2x 約 80TB	2x 約 160TB
本体重量	約 60.8kg	約 60.8kg	約 61.3kg	お問い合わせ

c. 共通製品仕様

外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	437 × 178 × 699 (mm) (突起部含まず)
電源電圧	100~240 VAC 50 / 60Hz
電源ユニット	1400W redundant (80Plus Gold)
ホストインターフェース	SAS 24Gbps (4x 6Gbps)
付属品	2x 100V 用電源ケーブル (定格:100V-15A、長さ:1.8m、PSE 適合品) 2x 2P-3P 変換コネクタ 1x ホスト接続用 SAS ケーブル (長さ: 1m、mSAS:SFF-8088) ラックレール 一式 マニュアル (紙媒体)
動作環境	SATA HDD モデル: 10°C ~ 35°C、湿度: 20% ~ 80% (結露なきこと) SAS HDD モデル: 10°C ~ 30°C、湿度: 20% ~ 80% (結露なきこと) ※SAS HDD モデルは 25°C以下での使用を推奨
保存環境	-40°C ~ 65°C、湿度: 10% ~ 90% (結露なきこと)

## 付録 B. 消費電力/発熱量

消費電力 / 発熱量 / エネルギー消費効率

		HDD SATA モデル	HDD SAS モデル
型番		NCDT**45SANAS4U (E) JB NCDT**45SA4USPJB	NCDT**45SSNAS4U (E) JB
消費電力	最大	1154W (1163VA)	お問い合わせ
	高負荷	450W (446VA)	
	アイドル	412W (417VA)	
発熱量	最大	4155KJ/ hr	
	高負荷	1620KJ/ hr	
	アイドル	1484KJ/ hr	
エネルギー消費効率		N 区分 (*2) 0.0045	お問い合わせ

\* エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネルギー法で定める記憶容量で除した数値です。(2011 年度基準)

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル

<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2013 Newtech Co., Ltd. All rights reserved.